

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県 リハビリテーション西播磨病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	10	-	訓	-
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,459,867	9,948	非該当	非該当	15 : 1

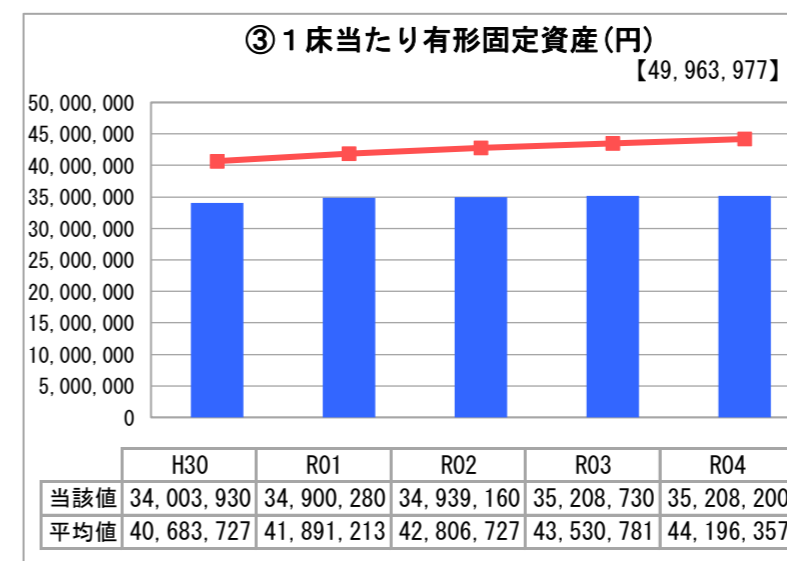
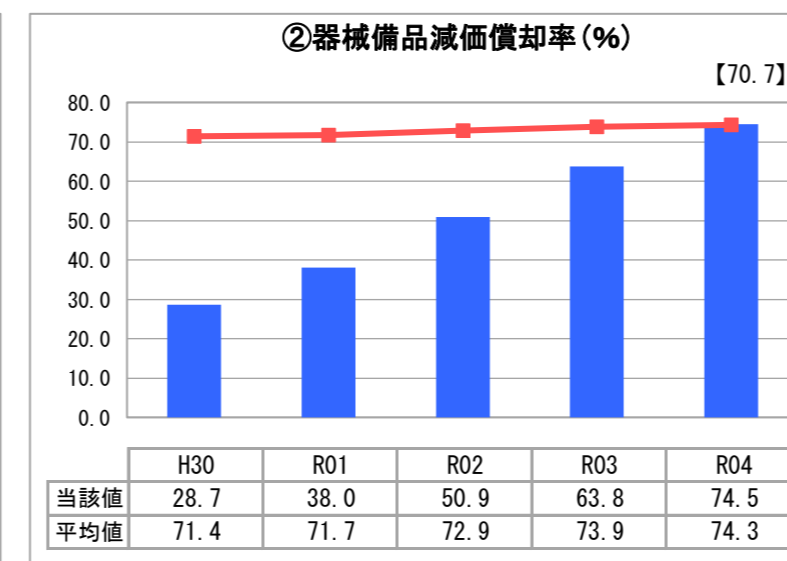
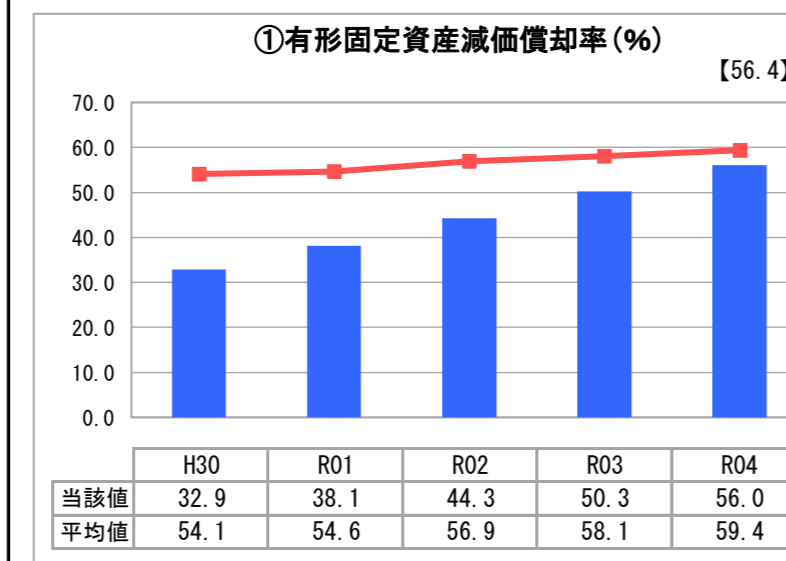
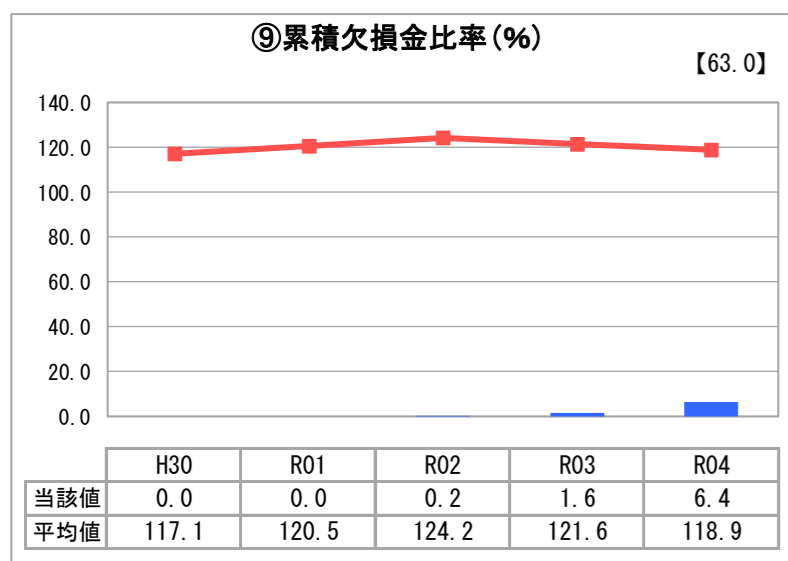
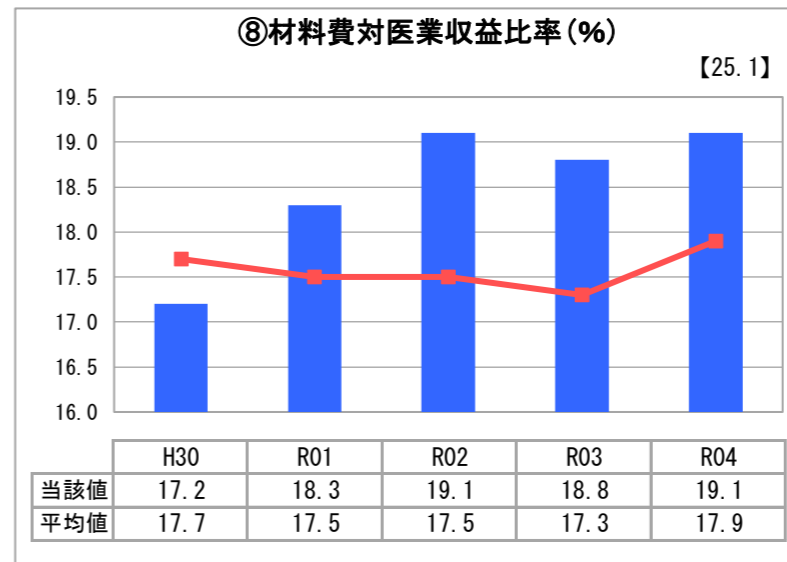
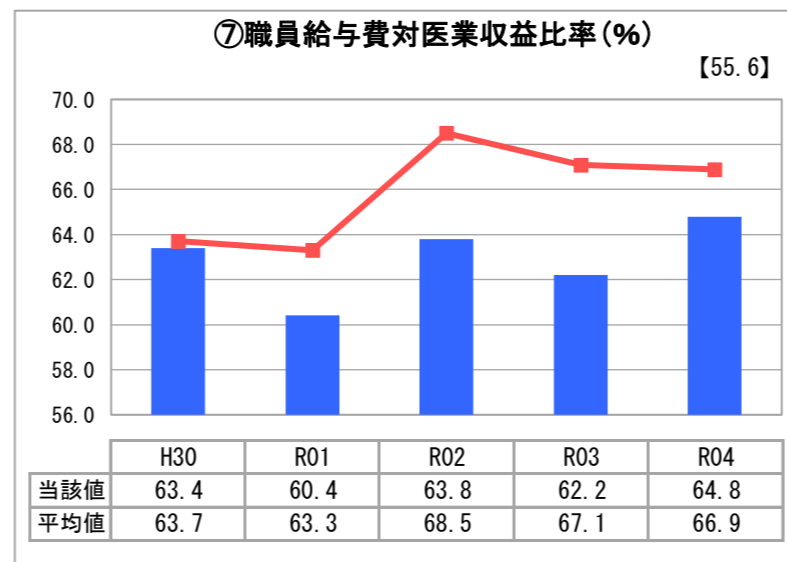
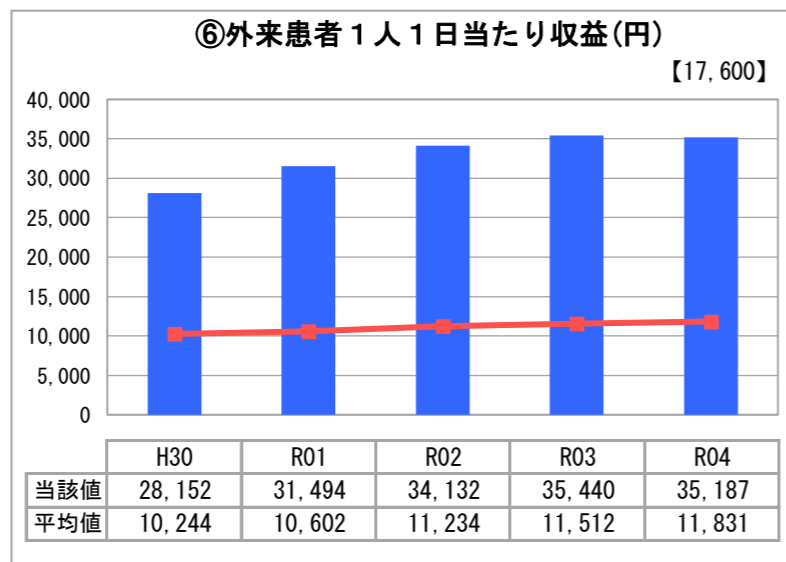
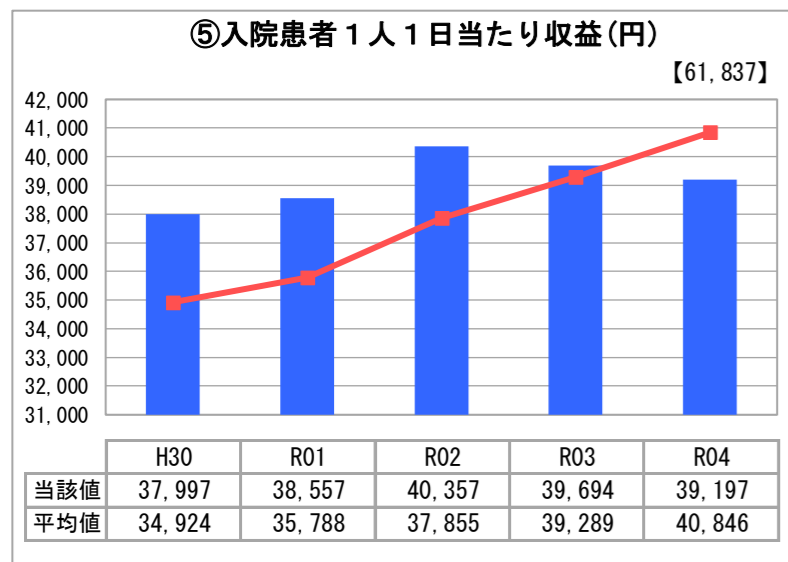
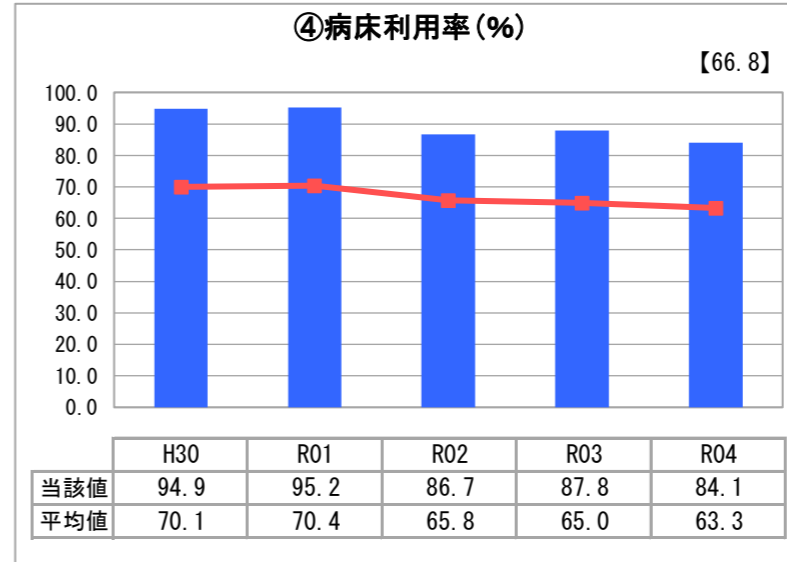
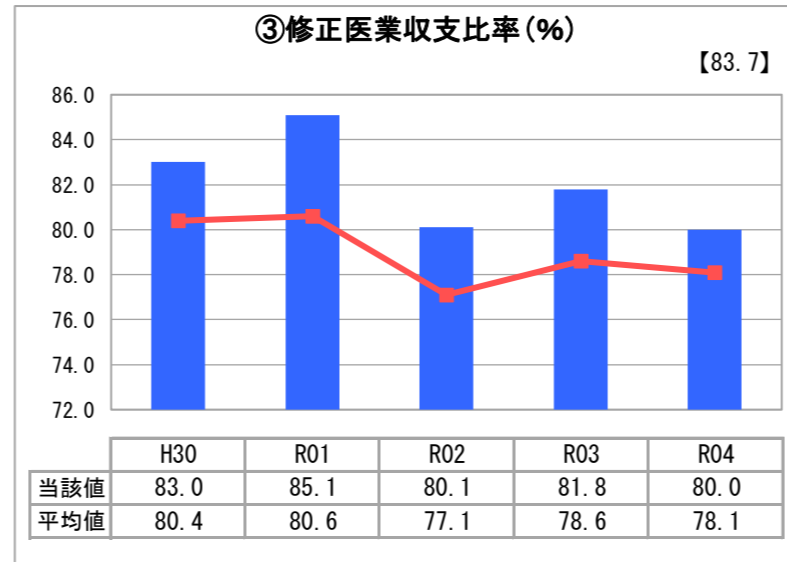
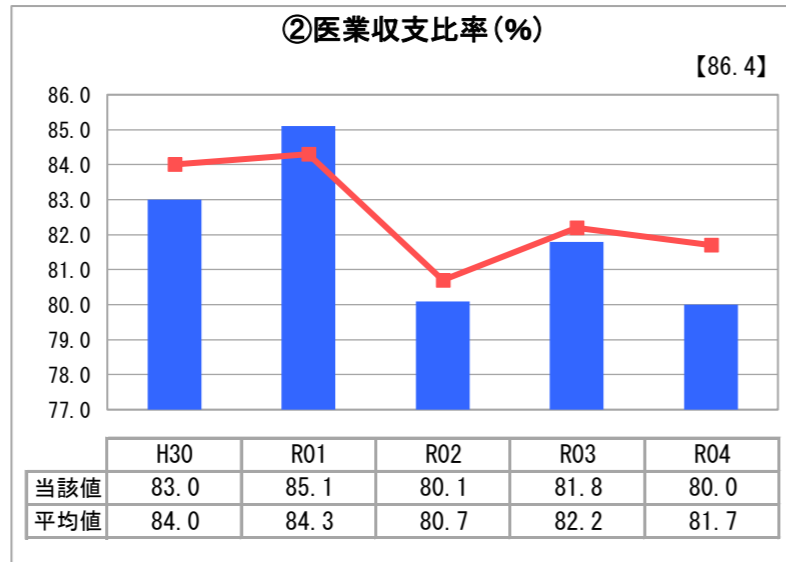
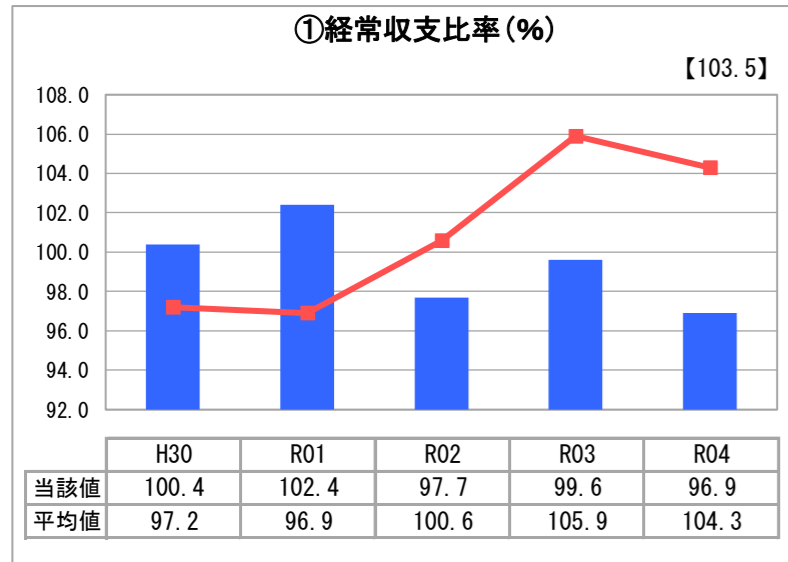
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
100	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	100
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
100	-	100

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域の医療機関等に対応困難な高度・専門的なリハビリ医療を提供するとともに、神経難病リハビリテーションセンターによる神経難病患者の在宅療養等を総合的に支援している。
また、西播磨圏域の認知症疾患医療センターとして、鑑別診断やかかりつけ医の研修、専門医療相談等を実施するほか、医療連携協議会の開催等により、かかりつけ医や地域包括支援センター、行政機関との連携を推進している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

(1) 収益の確保
経常収支比率では、令和3年度もコロナの影響等により100%を下回るものの、それまでは100%で推移しており、累積欠損も無いなど、健全経営を続けている。
平成28年度からSPECTの運用を開始し、認知症、脳卒中、高次脳機能障害及びパーキンソン病等の患者に対するリハビリ医療の充実を図っている。

(2) 安定的な患者確保
回復期リハビリテーション病棟では、効果的なリハビリテーションの提供とアウトパツトの実施により入院患者の早期の機能回復、早期退院の一層の推進を図っている。早期の退院支援計画の策定や多職種によるリハビリテーションの効果向上への取組、入院時の急性期病院及び退院時の介護事業者等との連携、全県から脊髄損傷患者等重症患者の積極的な受入を行っている。

2. 老朽化の状況について

当院は平成18年7月に開院した施設であるため、有形固定資産減価償却率は類似病院平均と比べて低く、有形固定資産は比較的に新しい。
引き続き、施設の老朽化に備えるとともに、最新の医療を提供していくため、計画的な施設整備を推進する。

全体総括

これからも、リハビリの中核病院として、医療水準の向上を図るための研究を進めるとともに、地域との医療連携のもとで神経難病患者や脊髄損傷等の重度障害者を積極的に受け入れ、高度で専門的なリハビリ医療を提供していく。
現在の病床利用率や診療報酬改定に対応した施設基準を維持しつつ、検査等の診療報酬を着実に増やし、セラピスト等の人員を安定的に確保してリハビリ実施単位数を増やすこと等により安定した経営に努めていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。